

01【研究内容】

1 学校教育目標

～確かな学力・豊かな心・健やかな体を育み、
家庭・地域とともに歩む活気ある学校～

2 研究主題

主体的に学び、豊かに表現する子どもの育成
～「聞きたい!」「話したい!」「伝えたい!」を大切にした授業づくり～
【研修領域：外国語科・外国語活動】

3 研究主題について

○「主体的に学ぶ」とは、自分からやってみようとする、進んで相手とかかわろうとする、コミュニケーションを図ろうとする、学んだことを次の機会に試してみようとする姿が見られること。

○「豊かに表現する」とは、友だちや教師の話を聞いて反応する、自分の考えや気持ちを相手に伝えるように話す。聞いたことに対して、積極的に質問したり、答えたりする姿が見られること。

○「聞きたい!」とは授業の中で、ALT や HRT の発音や指示を聞くこと。
「話したい!」とは、聞き取った言葉をまねて言ったりその表現を使ってやり取りをしたりすること。「伝えたい!」とは、自分の考えや気持ちを外国語（英語）を使って伝えることと設定する。

4 主な研究内容【亀山西小英語教育のための7つのメソッド】

- ①単元構想と魅力あるゴールの設定
- ②豊かなアウトプットのための効果的なインプット
- ③対話的活動につながる small talk の活用
- ④主体的なコミュニケーションを生むアウトプットの場面設定の工夫
- ⑤主体的な言語活動につながる評価
- ⑥子どもの意欲を継続させる短時間学習
- ⑦授業者の英語力向上

◎外国語活動における言語活動とは、「言語のスキル向上だけでなく、実際に外国語を使って互いの考えや気持ちを伝え合う活動」を意味する。子どもに身に付けさせたい力をイメージした単元構想の設定や、魅力あるゴールの設定、発問や内容の工夫など、子どもたちの学びの意欲を引き出し、主体的に活動できる授業づくりについて考える。さらに子どもや学級の実態を的確に把握し、子どもたちの能力にあった必要な手立てを考えていきたい。



02【研究主題設定の理由】

○外国語（英語）の身近なものの言い方に親しんだり、それらを使って自分のことを言ったりしている。

○活動の多い外国語活動の授業を楽しみにしており、ALT に積極的に話しかけていく子もいる。

○外国語(英語)の授業に対して90%以上の児童が肯定的にとらえている。

しかし・・・

①外国語（英語）を使って友だちと話をするに対しては、肯定的にとらえている割合は60%程度に下がっている。

②既習の表現を用いて会話をつなげたり聞きたいことを相手に質問したりするような、相手を意識した「伝える」表現にまでは至っていない。

③自ら進んでやってみようという学習への意欲や態度、何か質問は？と聞かれたときに積極的に発言する姿はあまり見られず、受け身である。

④学習全般において、伝えたいことが明確でなかったり自分の考えを持ってなかったりする姿が見られる。

⑤伝えたいことがあっても、友だちと聞いたり話したりするコミュニケーションを通して、思いや考えを表現することが苦手な子どもも多い。

⑥授業者においても、外国語（英語）に対して苦手意識があることも否めない。発音や授業の展開などへの不安がある。

そこで、
★目的やめあて、子どもにつけたい力を明確にした授業づくりと伝え合う活動の充実、言語スキル向上を図る実践により、子どもが「聞きたい」「話したい」「伝えたい」といった「学ぶ喜びと意欲の向上」と「コミュニケーション能力」を養い、自分の思いや考えを豊かに表現できるよう本主題を設定した。



04【クラスルーム・イングリッシュ】

活動をするときに使えそうなもの	
Face each other.	向かいあいましょう。
Look here !	ここを見て！
Make pairs, please.	ペアをつくりましょう。
It's your turn.	あなたの番です。
Choose one.	一つ選んで。
Nice try!	おいしい！よくがんばりました。
You, too?	あなたも？
Good listening.	しっかり聞けてますね。
Go back to your seat.	席にもどりましょう。
Take your time.	あせらないで。
Any volunteers?	やってみたい人はいますか？

03【授業モデルパターン】

段階	児童の活動		●教師の指導事項 ○指導上の留意事項
■導 入			
Warming up 5分	●Greeting	・元気よくあいさつする	●児童主導：子どもにあいさつを返したり今日の気分を聞いたり答えたりする。 ○テンポよく。○楽しい雰囲気づくり。
	●Three Question	・日付・曜日・天気を答える	●HRT・ALT主導：すぐには定着しにくい日付・曜日・天気の言い方に慣れさせる。 ○テンポよく。○楽しい雰囲気づくり。
Small talk 5分	・まとまりのある話を聞く ・既習内容を思い出し、聞いたり話したり(会話)する		●HRT・ALT主導：既習の表現を使った自然な会話をする。 ○児童との対話をできるだけ増やす。
			
■本 時			
Today's goal 1分	本時の学習ゴールの確認		●めあてにつながる動機付け。 ●めあての提示。
Activity 25～35分	パターン①	同じ活動を2回する！	●クラスルームイングリッシュを使う。 ●児童全員を活動に参加させる。 ○いかに聞いたり話したりする場面を多く設定できるか。 ○対話する場面を意識的に増やし、コミュニケーションの質を高める。 ●子どもたちが思考する場を設定する。
	パターン②	異なる活動を2種類する！	【シェアリング・タイムの設定】 ○活動していて困ったことや難しかったことを交流し対策する手立てを考えさせる。 ○うまく会話ができたとき、交流できた内容を紹介する。
	パターン③	1つの活動をじっくりする！	○もっとのしく会話を続けるために、相手のことを知れるように相手への反応(reaction・repeat・question)の工夫手立てを助言する。
			
■まとめ・ふりかえり			
Looking back 5～10分	活動を振り返る		●ふり返りカード(単元・まとまりごと) ○できたという達成感・成就感を味わわせる。



05【亀山西小 チーム別研修】

◇Classroom English (C.E) の充実 【教員活動 team】
毎週金曜日、打合せ後に1フレーズずつ新しいC.Eを紹介。次の時間に意識的に使って教師自身も英語力向上を図っている。

◇English Time (月1回) の継続 【教員活動 team】
ALTのsmall-talkを教師用に準備し教師全員が聞き合う。Small-talkの内容についてふれ確認したり、聞き取れなかったフレーズなどを繰り返し聞いたりして研修を深めている。

◇input系の活動の充実 【児童活動 team】
チャンツやゲームを活用すると子どもたちは単語やセンテンスを覚えやすい。Input系の活動を充実させるために様々なゲームやチャンツを教師自らが考え実践しようとしている。

◇視覚に訴える英語の工夫 【学習環境 team】
校舎内に絵とアルファベットで描かれた英単語を掲示して、子どもたちが日常的に英語に触れる機会を作っている。立ち止まって眺める子や階段を上りながら発音する子など興味を示している子が増えている。

06【めざす子どもの姿】

【高学年】外国語で表現することに意欲を持ち、基礎的なコミュニケーションの技能を身につけ、他者に配慮しながら、主体的にコミュニケーションを図ろうとする。
 【中学年】外国語で表現することに興味を持ち、外国語の基本的な表現を用いて、相手に配慮しながらコミュニケーションを図ろうとする。
 【低学年】外国語に親しみ、簡単な単語や表現を用いて、簡単なコミュニケーションを図ろうとする。

【高学年】	聞くこと ●自分のことや身近で簡単な事柄について、 ・簡単な語句や基本的な表現を聞き取る ことができる。 ・具体的な情報を聞き取る。 ・短い話の概要をとらえることができる。	読むこと ・慣れ親しんだ 簡単な語句や 基本的な表現 の意味が分かる。 	話すこと ・簡単な語句や基本的な表現を用いて、 身近なことを話したり、それに応じ たりすることができる。 ・自分のことについて、伝えようとする 内容を整理したうえで、話すことが できる。	書くこと ・大文字小文字を書く。 ・例文を参考にするなどして、慣れ親し んだ簡単な語句を用いて書き写すことが できる。 
【親和的な学級づくり・なかまづくり】●自分も友だちも大切。つながって個性を伸ばす。 				
【中学年】	聞くこと ●ゆっくりはっきり話した際に、 ・自分のことや身の回りのものを表す語句を聞き取るようにする。 ・身近で簡単な事柄に関する基本的な表現の意味を聞き取るようにする。 ・身近で簡単な事柄に関する短い話のおおよその内容を聞き取ろうとする。	話すこと ●簡単な語句や基本的な表現を用いて、 ・動作を交えながら、自分の考えや気持ちを伝えようとしたり、相手に尋ねようと したりする。 ・自分のことや身の回りのものについて人前で実物などを見せながら話そうとする。		
【親和的な学級づくり・なかまづくり】●自分の気持ちわかってほしいな。相手の気持ちも考えよう。みんなで考えよう。 				
【低学年】	聞くこと ●ゆっくりはっきり話した際に、 ・簡単な語句を聞き取る。 ・挨拶、感謝の気持ちを聞き取る。 ・簡単な指示の基本的な表現を聞き取る。 	話すこと ●簡単に短い表現を用いて、 ・挨拶をする。 ・感謝の気持ちを伝える。 ・お願いしたり、応じたりする。 		
【親和的な学級づくり・なかまづくり】●自分のこと知ってほしいな。きいてほしいな。友だちのこと知りたいな。ききたいな。				

07【単元の流れ】

【input系の活動】

【output系の活動】

自分の思いや考えを相手に豊かに表現する力

単元の流れ

魅力ある

単元の導入

発問や内容の工夫

単元のゴール

豊かな言語活動と対話的活動（output重視の活動）

単元が充実してくる中盤・終盤においては、アウトプットである対話的活動を多く取り入れることが望ましい。

●導入でのHRTとALTと会話

●デジタル教材の使用

●ポインティングゲーム
（言われた単語を指さす）

●ペア活動（やりとり）

●全体発表（1人対全員）

聞きたい！

話したい！

伝えたい！

●絵本の読み聞かせ

●キーワードゲーム
（言った言葉を繰り返して言う）

●キーセンテンスゲーム
（言った言葉・文章を繰り返す）

●班活動（発表）

確かな英語スキルの向上（input重視の活動）

●歌を歌う

単元導入から対話的活動が活発となる中盤ごろまでは、本単元に必要な単語やセンテンスの言語スキルの習得をしっかりとっておくことが望ましい。

英語を学ぶ喜び・次への意欲

伝えたい！

○質問してみようかな？ ○同じ意見だったな。
○友だちの言っていることが分かった！
○自分の言ったことが伝わった！
○他のことは、どうやって話すの？
○もっとたくさん話したい！

話したい！

○何の話をしているのかが分かったよ。
○何とっているか、分かった！
○まねしてみたいなあ！
○友だちや先生のいっていることが分かったよ。

聞きたい！

○ALTの先生と話してみたいな！
○質問してみたいな！
○友だちのこと知りたいな！
○何て言ってるか知りたいな！

・学習規律の徹底 ・国語（聞くこと・話すこと）
・基礎学力の定着 ・親和的な学級づくり、なかまづくり
の実践 ・英語環境整備 ・教師の英語力の向上

令和2年度



研究デザイン



亀山市立亀山西小学校

〒519-0152 三重県亀山市本丸町 585

TEL 0595-82-0139

FAX 0595-82-8720

<http://www.kameyama-mie.jp/kbloq/nishi/>

■■■■■■■■ 教育大綱 基本方針 ■■■■■■■■

未来を拓く子どもたちの豊かな学びの実現

□■■■ 亀山市教育関係職員 研修基本方針 ■□■

- (1) すべての子どもの学ぶ意欲を高め、社会で生きてはたらく「確かな学力」を育てる教育活動をすすめる。
- (2) 教師の授業力向上を追求するとともに、系統的な指導をすすめる。
- (3) 人権を尊重し、なかまとともに、豊かな心と身体をはぐくみ、自己肯定感・自己有用感を高める教育活動をすすめる。
- (4) 地域の人材や活動を活用し、地域とともに特色ある教育活動をすすめる。